

水害から命を守る 「準備」はできていますか？

6月から10月頃は出水期と呼ばれ、集中豪雨や台風などにより水害が起こりやすい時期です。

志木市においても、令和元年10月に発生した令和元年東日本台風は、各地域に大きな被害をもたらし、水害の恐ろしさを身をもって知る出来事となりました。

一方で、水害は事前の情報収集や早めの避難をすることで命を守ることができる災害といわれています。今月は、大切な命を守るために日頃からできる水害への準備についてお知らせします。

問合せ／防災危機管理課 ☎048(473)1123

今夏は、例年以上に警戒が必要

台風第2号に伴う梅雨前線の影響により、6月2日から3日にかけて埼玉県内は記録的な大雨に見舞われ、市内においても床下浸水などの被害が発生しました。

気象庁は、5月下旬にエルニーニョ現象が発生したことから、今夏は例年以上の大雨を記録する可能性があるとして警戒しています。

気象庁及び志木市から発表される警戒レベルを把握しておきましょう

災害の危険度や避難情報は、5段階の警戒レベルでお知らせします。

警戒レベル3が発令されたら避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は避難を開始し、レベル4では、危険な場所から全員が避難する必要があります。警戒レベル5は災害が発生または切迫している状況です。この時点で避難ができなかった人は、自宅の少しでも安全な部屋に移動するなど、命を守る行動をとらなくてはなりません。

警戒 レベル	避難情報など	とるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険。直ちに安全確保
～警戒レベル4までに必ず避難～		
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者や障がい者などは避難
2	大雨・洪水・高潮注意報	避難行動を確認
1	早期注意情報	最新情報に注意

高
↑
危険度
↓
低

事前に避難先や連絡方法を確認しましょう

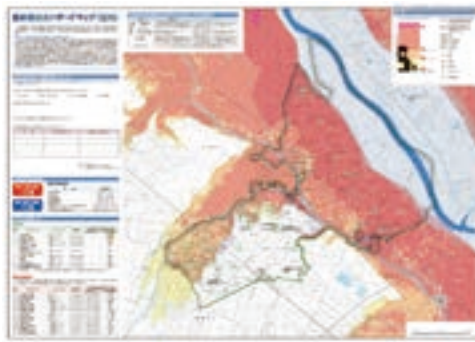
災害が発生してからでは、避難先や連絡方法の確認をしている時間はありません。事前に避難先を決めておくなどの対策をしましょう。

確認1 洪水ハザードマップを利用して避難場所・避難経路を確認

家族全員が安全に避難するために、避難場所と避難経路を洪水ハザードマップで確認し、共有しておきましょう。洪水ハザードマップは新河岸川・柳瀬川編と荒川編があり、防災危機管理課、市民サービスステーション、柳瀬川駅前出張所で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます。



▲新河岸川・柳瀬川編ハザードマップ



▲荒川編ハザードマップ



▲ハザードマップ

確認2 災害レベルに応じたマイ・タイムラインを作成

台風などの影響によって水害が起こったときに慌てることがないように、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ記入しておくチェック表です。災害全般の防災行動のチェック機能として役立ちます。

行動は短く具体的に

マイ・タイムラインに記入する内容は、生活環境によって異なり、乳幼児や高齢者を介助している人は、警戒レベルに応じて必要な行動を記入しておくことが大切です。

また、災害発生時は冷静に判断ができる状態でない可能性が高いため、マイ・タイムラインに記入する内容が長文や抽象的であると、かえって混乱してしまいます。マイ・タイムラインに記入する内容は、短く具体的にすることを心がけましょう。

子どもも作成することで意識向上

マイ・タイムラインは子どもも作成できます。災害発生時に何を持っていくのかなど、大人といっしょになって考えることで、災害に対する関心も高まります。

マイ・タイムラインの作成については、市ホームページ内の動画などで詳しく解説していますので、ぜひご覧ください。



▲マイ・タイムライン

警戒レベル	あなたの行動
1	テレビ、ラジオ、インターネットなどで気象情報の確認 家族の今後の予定を調べておく 紙おむつ、ミルクなどを買に行く 体温を測定し、熱がないかを確認する ハザードマップを見て、どこに避難するか決めておく
2	
3	●●避難所に避難をする 紙おむつ、ミルクなどを持って行く
4	●●避難所に避難したことを家族に伝える 体調に異変がある場合は、避難所のスタッフに伝える
5	避難が遅れた場合は、家の高いところに避難する 家族に逃げ遅れていることを電話で伝える

雨風が強くなる前の行動
水位などの状況を把握して避難行動を開始する
身の安全を確保

▲マイ・タイムライン作成例

確認3 志木市メール配信サービスに登録

登録しておくことで志木市が対象となる気象情報を受信でき、災害発生時の貴重な情報収集ツールとなります。また、防災行政無線の放送内容も配信していますので、ぜひ登録しましょう。



▲メール配信サービス

防災グッズを準備しておきましょう

「備えあれば憂いなし」の言葉のとおり、事前に用意した防災グッズは必ず役に立ちます。

『災害の「準備」チェックリスト』を活用し、時間にゆとりを持って準備し、災害に備えましょう。

災害の「準備」チェックリスト

非常用持ち出し袋

避難の際に持ち出すもの

- ☐ 水
- ☐ 食品
(ご飯 (アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分)
- ☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 衣類・下着
- ☐ 雨具
- ☐ 紐のない靴
- ☐ 懐中電灯 (※手動充電式が便利)
- ☐ 携帯ラジオ (※手動充電式が便利)
- ☐ 予備電池・携帯充電器
- ☐ マッチ・ろうそく
- ☐ 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ブランケット

- ☐ 軍手
- ☐ 洗面用具
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ タオル
- ☐ ペン・ノート

感染症対策にも有効です！

- ☐ マスク
- ☐ 手指消毒用アルコール
- ☐ 石けん・ハンドソープ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 体温計

いっしょに持ち出そう！

- ☐ 貴重品
(通帳、現金、パスポート、マイナンバーカード、運転免許証、病院の診察券など)

子どもがいる家庭の備え

- ☐ ミルク (キューブタイプ)
- ☐ 使い捨て哺乳瓶
- ☐ 離乳食
- ☐ 携帯カトラリー
- ☐ 子ども用紙オムツ
- ☐ お尻ふき
- ☐ 携帯用お尻洗浄機
- ☐ ネックライト
- ☐ 抱っこひも
- ☐ 子どもの靴

女性の備え

- ☐ 生理用品
- ☐ おりものシート
- ☐ サニタリーショーツ
- ☐ 中身の見えないごみ袋
- ☐ 防犯ブザー／ホイッスル

高齢者がいる家庭の備え

- ☐ 大人用紙パンツ
- ☐ 杖
- ☐ 補聴器
- ☐ 介護食
- ☐ 入れ歯・洗浄剤
- ☐ 吸水パッド
- ☐ デリケートゾーンの洗浄剤
- ☐ 持病の薬
- ☐ お薬手帳のコピー

ローリングストックのススメ

ローリングストックとは、普段から少し多めに食材や加工品を買っておき、使った分だけ新しく買い足していく備蓄方法です。

保存食の備蓄は、ローリングストックが有効といわれており、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保つことができるため、避難時にも日常生活に近い食生活を送ることができます。



第44回九都県市合同防災訓練 令和5年度埼玉県・志木市民総合防災訓練を 市役所及びいろは親水公園で開催します

8/27 (日) 9時～13時30分

首都直下地震などの被害を最小限に食い止めるために、九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)相互の連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を目指し、毎年、9月1日の「防災の日」を中心とした「防災週間」(8月30日～9月5日)に、九都県市合同防災訓練を実施しています。

大正12年(1923年)に発生した関東大震災から100年の節目となる今年、志木市が埼玉県会場となります。緊迫感のある訓練を見に、ぜひ会場へお越しください。

主な実施内容

はしご車による救出救助訓練



三連はしごなどでも救助できない高さにいる要救助者を救助するための訓練です。

斜めブリッジ救助訓練



2階以上にいる要救助者を、建物などの窓やベランダから安全に救出する訓練です。

水難救助訓練



河川や湖などで水難事故に遭った人を救助する訓練です。

消防車両の展示など



消防、警察、自衛隊などの特殊車両展示や子ども対象の制服試着イベントも実施します。

その他の訓練

災害対策本部設置・運営訓練、住民による初期消火訓練、ヘリによる救助訓練、座屈建物救出訓練など約30種類の訓練を実施する予定です。

また、いろは親水公園を防災フェア会場として、救助犬の活動デモンストラレーション、自衛隊カレー(数量限定)の配食のほか、ステージ企画なども実施予定です。

訓練の開催に伴い、会場となる市役所周辺で交通規制を行います。周辺道路の混雑が予想されますので、迂回のご協力をお願いします。



▲県ホームページ



▲市ホームページ